

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

神奈川県大和市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	透未訓ガ	救臨が災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
242,937	27,111	非該当	非該当	7：1

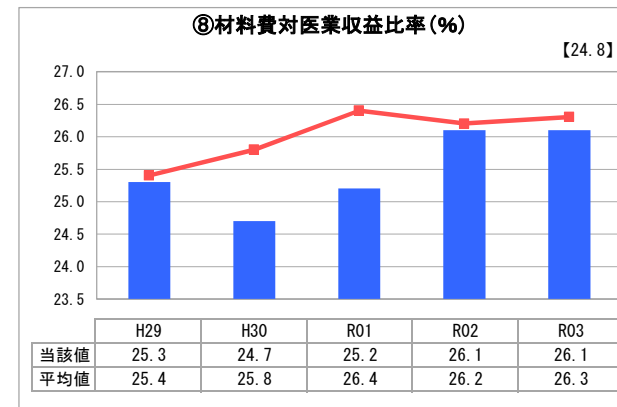
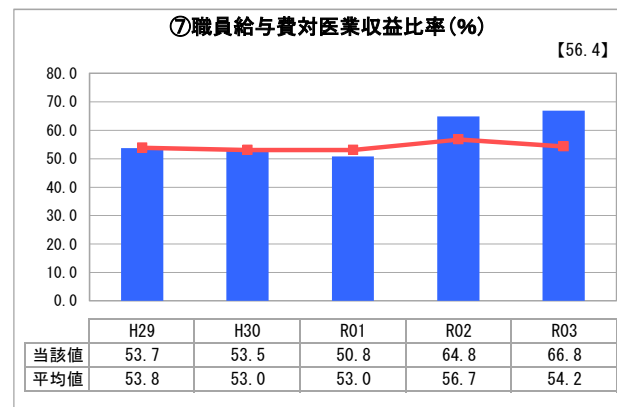
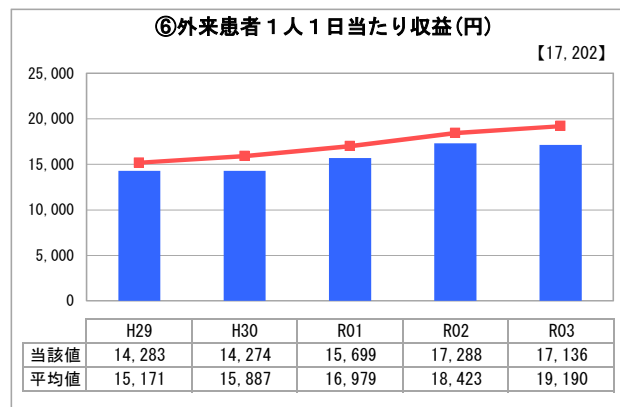
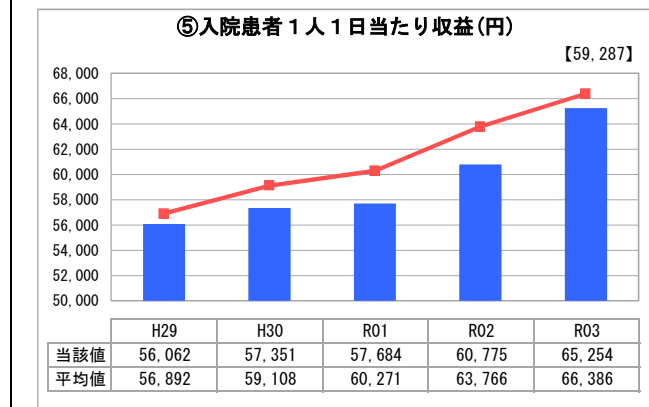
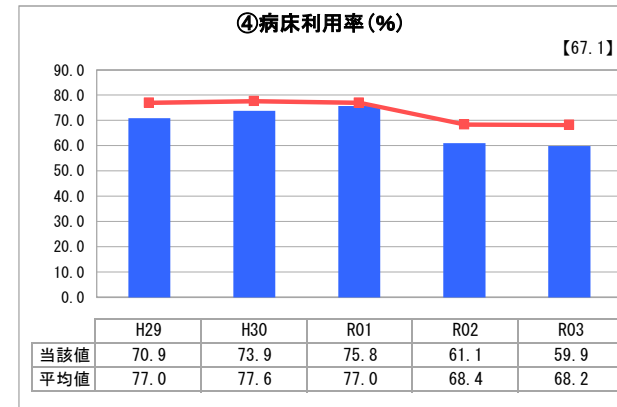
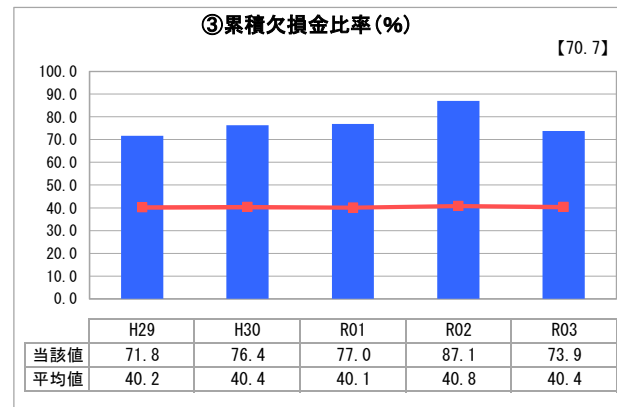
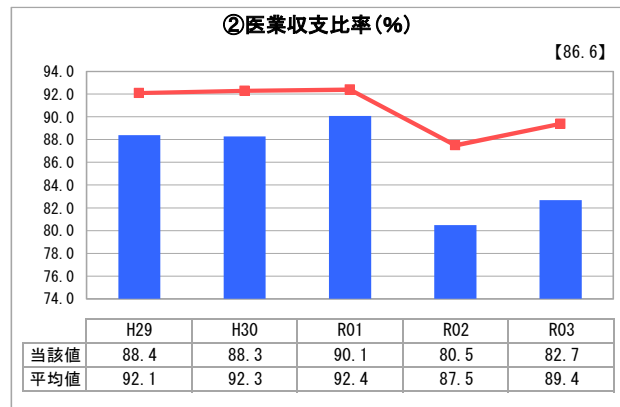
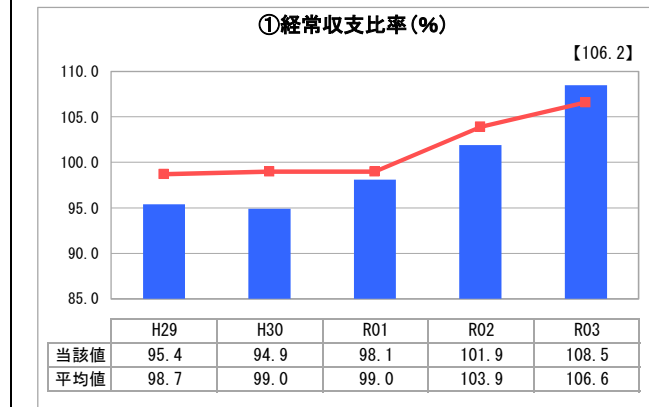
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

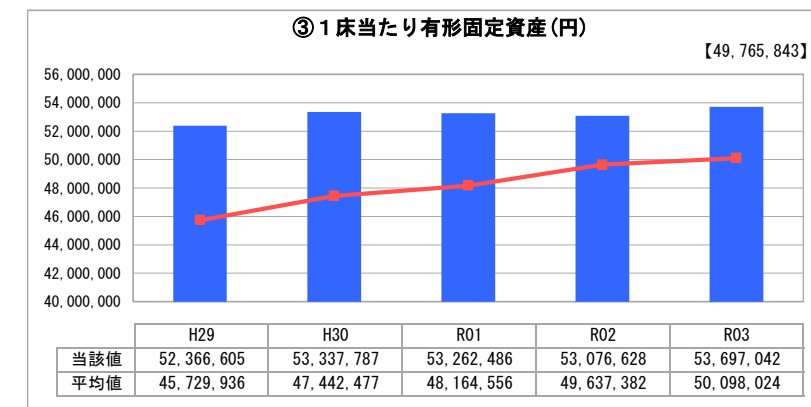
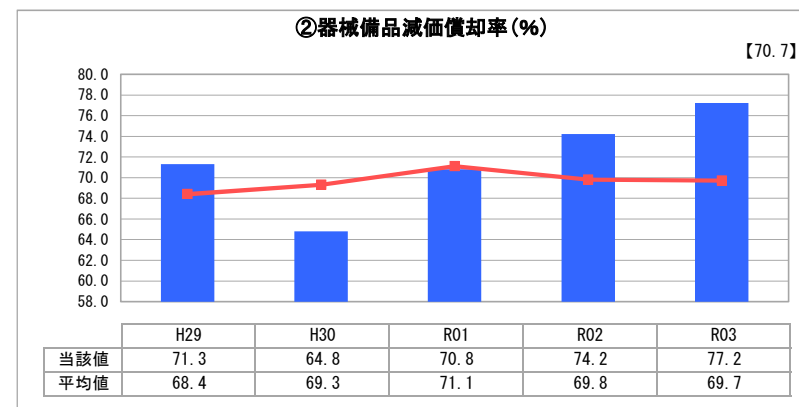
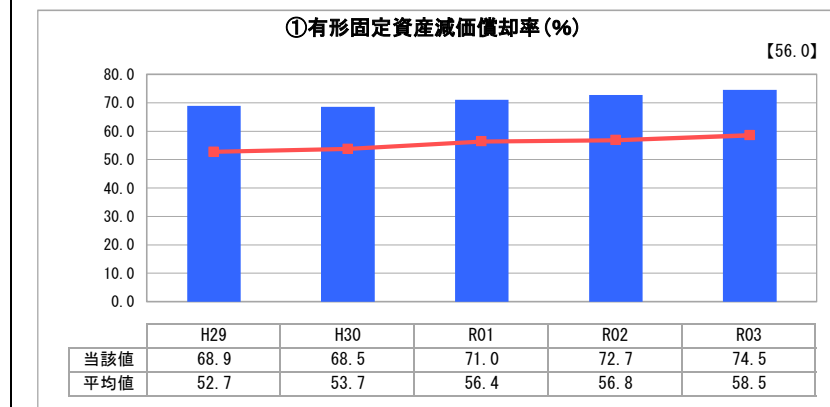
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
403	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	403
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
268	-	268

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

本院は長年にわたり、救急医療や災害医療及び小児周産期医療の中核病院として、地域の医療需要に応じてきました。平成24年には地域がん診療連携拠点病院、令和元年には地域医療支援病院の承認を受け、コロナ対応では重点医療機関として利用者が身近な地域で医療等が受けられるよう整えています。

今後も神奈川県地域医療構想県央構想区域における基幹病院の一つとして、地域の皆様のいのちを支えるために、急性期病院としてふさわしい医療提供体制を充実させるとともに、地域の医療機関等との連携を一層深めていきます。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は新型コロナウイルス対策補助金等により100%を超え、類似病院の平均値を上回りましたが、医業収支比率や病床利用率は平均値を大きく下回っており、病院経営は大変厳しい状況です。

入院患者 1人 1日 当たり 収益は上昇するも、今なお類似病院平均値を下回り、職員給与費対医業収益比率については前年度と同様に医業収益の減少等により、平均値を上回っている状況です。引き続き、診療報酬請求の適正化等の確認を行うなど、収支改善に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

本院は、建替後間もなく30年経過となり、外壁やインフラ設備など様々な面で老朽化が進んでいます。そのため、病院の建て替えを将来的に見据えつつ、まずは建て替えが実現可能な財務状況になることを目指します。

なお、将来的な建て替えまでの間も施設の機能と安全性を確保する必要があることから、施設保全計画に基づく改修を順次行い、施設の長寿命化を図っていきます。

器械備品については、経営状況を踏まえながら既存品の機能や必要性を精査し、計画的に更新していきます。

### 全体総括

本院は構想区域における基幹病院の一つとして、また急性期医療の拠り所として、長年にわたり、地域の医療需要に応じてきました。

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応によって、病床稼働も患者動向も大きく影響を受けた一年でしたが、大和・綾瀬地域における唯一の重点医療機関として、一部診療制限をしつつ、多くの陽性患者を受け入れるなど、その使命を果たしてきました。

今後も多くの患者さんに信頼される地域の基幹病院として存在し続けていくためにも、必要な医療提供体制を整えるとともに、収支改善に取り組み、持続可能な病院経営に努めます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。